



大阪北港マリナーにて、 元オリンピックセーリングアスリートの「宮川 恵子」を契約プロセーラーとして招聘



biid株式会社(以下、ビード。本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：松尾 省三 Web: <https://biid.jp/>)は、元オリンピックセーリング選手の「宮川 恵子」と、セーリングを中心としたマリンスポーツアクティビティのアドバイザー兼オペレーターを担当する、契約プロセーラーとして招聘しました。

ビーチやマリナーといった海際に特化した施設運営と再生、有効活用等、地域活性化の取り組みなどの事業を行っているビードは、新たにセーリング競技アスリートのセカンドキャリアの課題解決と、セーリング業界の発展のための取り組みに尽力してまいります。宮川恵子は、「大阪北港マリナーHULL(大阪府此花区 Web: <https://www.hokkomarina.com/>)」にてセーリングを中心に、女性アスリート目線で考えるマリナーの陸と海のボーダレス化を実現するアクティビティの開発と運営や、指導者・インストラクターの育成を担当しています。

セーリングアスリート宮川 恵子のプロフィール

日本大学出身、2016年リオデジャネイロオリンピック49erFX級日本代表。2020年東京オリンピックでは49erFX女子チームのサポーターを勤め、現在はディンギーからキールボートと活動の範囲を広げています。ビードが運営する「ちよっとヨットビーチマリナー江ノ島」(神奈川県藤沢市 Web: <https://www.chotto-yacht.com/>)では、セーリングコーチとしてアスリートレベルだけでなくキッズやジュニア、ユースの育成や指導者・インストラクターの育成を行っております。

また、「大阪北港マリナーHULL(大阪府此花区 Web: <https://www.hokkomarina.com/>)」では、セーリングを中心に女性アスリート目線で考えるマリナーの陸と海のボーダレス化を実現するアクティビティの開発と運営を担当しています。



実績

2013年より成年セーリングスピリッツ級で第68回～第70回 国民体育大会3連覇を達成。
2015年3月に日本セーリング連盟が始めた49erFXの強化プロジェクトに参加したことをきっかけに、国体後の同年10月からは高野芹奈とペアを組み、ペア結成後半年という期間でありながら、2016年3月にアジアセーリング選手権大会49erFX級で優勝し、2016年リオデジャネイロオリンピックで新種目となった女子の49erFX級の日本代表となった。

現状の問題と課題

1. “キャリア選択”の余地がない。
2. セーリングに関わる仕事の数が皆無。
3. セーリングにかかわる仕事は報酬が少ない。
4. 現役を退いたアスリートに「職業選択」の自由が閉ざされているような状態。
5. 「数あるキャリアの中からセーリングの仕事」を選んで希望しているのではない。
6. 「社会人アスリート」に限った話ではない、「学生アスリート」も同様。
7. スポーツに100%費やしたい一方で、“将来”への不安は拭いきれない。

ビードが考える 企業側に求められていることと課題

1. セーリングアスリートが活躍できる今までのスキルを活かした新規事業の創出
2. セーリングアスリート採用のための人件費と財源の確保
3. 新規事業創出のための設備投資資金の財源確保
4. 対象となるヨットハーバーマリナーの確保
5. セーリングアスリートたちと企業たちをつなぐWEBプラットフォームの構築
6. 国体、小規模国内大会へ参加できるセーリング競技の一部継続の許可